



鳥獣被害対策

県独自の助成措置を



日本共産党 県議会議員

たかせ菜穂子

福岡県の農産物の鳥獣被害額は、北海道について全国2位、被害面積あたりで見ると北海道の10倍以上にもなります。

きわめて深刻な鳥獣被害対策は、待ったなしの課題です。日本共産党のたかせ菜穂子議員が、県独自の予算措置を、県議会で要求しました。

2013年度	被害金額(万円)	被害面積1haあたりの被害額(万円)
北海道	569,845	13.15
福岡	91,671	146.90
長野	73,395	14.48
宮崎	72,978	57.24
山形	61,568	27.73
岩手	50,632	37.76

県独自の捕獲報奨金、九州でないのは福岡と鹿児島だけ

国は「鳥獣被害防止特別措置法」を設置し、交付金制度を設けました。2013年から、1頭8000円の助成が行われています。福岡県の被害額も5年間で3億8千万円減少しました。このことは、予算措置をして対策を講ずれば、被害を減らせることを証明しています。

九州各県でも、国の交付金に上乗せして助成しています。なのは、福岡と鹿児島だけです。

大分	佐賀
イノシシ3000円、シカ2000円を県が、同額以上を市町村が上乗せ。イノシシ1頭1万4000円以上に。	県が2500円、同額以上を市町村が上乗せ、イノシシ1頭1万3000円以上に。

県内の狩猟登録者数は、平均年齢63歳（14年度）

新規狩猟者増へ、免許取得助成を

長崎県佐世保市では、狩猟登録者の講習受講料、健康診断書費用等を県と市で負担、狩猟者を10年で2倍にしています。捕獲報奨金上乗せも行い、被害額を6分の1以下に減らしています。福岡県も一部助成していますが、抜本拡充が必要です。

このままでは

たいへん

放置竹林 対策強化を



え！
福岡県の竹林面積は全国3位？

北九州地区は、毎日テニスコート3面分も放置竹林が増えている！



福岡県の竹林面積は、鹿児島、大分に次いで全国で3番目に広く1万2856ヘクタール（2012年林野庁調べ）にもなっています。森林に占める竹林面積の割合では、鹿児島（2・7%）、大分（3・0%）を抜いて全国一（5・9%）です。鹿児島、大分は5年前と比べ横ばいの一方、福岡は0・4%、450ヘクタールも増加させています。福岡県の侵入竹・放置竹林の実態は、大変深刻で、鳥獣対策同様、喫緊の課題です。

県独自に

他樹種への転換、 侵入竹の伐採を

たかせ菜穂子議員は、国の補助事業で行っている放置竹林の他樹種への転換を県独自でも行うこと、侵入竹の伐採などの対策を計画的に行うべきと指摘。あわせて、県の侵入竹林対策は、今年度で終了する「森林環境税」で行っていますが、一般財源で行うよう求めました。

竹をつかった バイオマス利用を

また、竹をつかったバイオマス発電など、新たな用途開発の必要性を提案、国への要請も含めて技術開発などに取り組むことを求めました。

県は、鳥獣対策も竹林対策も、様々な対策を行っていると言っていますが、それでも被害が全国最悪レベルです。

とりわけ竹林については、森林環境税を県民から特別に徴収しながら、全国で最も竹林を増やしています。このままだと、県民生活に大きな財政負担となります。対策の強化を強く求めてまいります。



たかせ菜穂子